

2026 年度 FIT 入試第 2 次選考概要(A 方式)＜参考＞

2025 年 9 月 20 日(土)に実施された慶應義塾大学法学部 FIT 入試(A 方式)の第2次選考の概要は、次の通りです。

1. 模擬講義の概要

■ 講義のテーマ

北朝鮮をどう読み解くか

■ 講義の概要

I はじめに

II 調査方法の例

1. フィールドワーク
2. 亡命者・脱北者へのインタビュー:HUMINT(Human Intelligence)
3. 衛星画像の分析:IMINT(Imagery Intelligence)
4. 公開情報の読み解き:OSINT(Open Source Intelligence)
5. 周辺国からの観察

III おわりに

* 大学 1 年生が受講して理解できるレベルの講義(50 分)を行う。

2. 論述試験の概要

■ 論述の設問内容

「講義で示した例のように、多角的な調査方法を用いることで実態や背景を明らかにできる社会的課題の具体例を取り上げ、その調査方法にはどのようなものがあり、その調査方法には、どのような利点と課題があるかを説明しなさい。」

■ 解答の形式 A3原稿用紙形式・2240 字以内。

■ 試験時間 45 分

3. 口頭試問の概要

教員から口頭で以下の問題を与え、受験生に自分の考えを述べること、また、教員からの質問に応答することを求めました。

■ テーマ(法律学科)

「裁判で犯罪者に死刑が確定した場合、法務大臣は6か月以内に執行を命じなければならないとされています。しかし、これは訓示規定と解されていて、近年では、判決確定から死刑執行までの平均期間は約9年6か月となっています。アメリカでは、この期間が更に長く平均23年3か月となっています。死刑囚の中には死刑が執行されないまま10年から30年も経過している者もいます。こうした状況によりどのような問題が生じるかを述べ、さらにこの状況を解決するためには、死刑廃止以外で、どのような方法が考えられるか、自分の考えを述べてください。」

■ テーマ(政治学科)

「Xやインスタグラムなどインターネット上で人々がつながり、情報を共有するためのプラットフォームであるSNSのような新たな技術の進展によって政治や社会の在り方は変容を迫られます。オールドメディアと比較した場合のSNSの特性を踏まえた上で、SNSが民主主義に与える影響について、あなたの考えを述べてください。」

■ 口頭試問時間 約 15 分